

令和7年度 厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助金制度

厚岸町の湿原周辺における ケアリ属の好蟻性ハチ類相の解明



九州大学昆虫学研究室
梶原冴月・河合諒人・松浦公平

背景

好蟻性昆虫：アリの攻撃を回避し、巣内の資源や環境を利用する生物

好蟻性ハチ類

- アリとの関係は極めて多様
(Lachaud & Pérez-Lachaud, 2012)
 - アリ自身に寄生する種
 - 好蟻性昆虫に寄生する種

日本における現状と課題

- 既知種は約30種に留まる (丸山ら, 2013)
→種多様性の解明が不十分



トビイロシワアリと栄養交換する
シワアリヤドリクロバチ (好蟻性ハチ類の一種)

背景

好蟻性昆虫の好適な生息環境

- 大型コロニーを形成する
ケアリ属やクシケアリ属が豊富
- ケアリ属の1巣から20種以上の
好蟻性昆虫を発見 (丸山, 2012)



モリシタクサアリのコロニー

未解明の多様性

- 原生的な自然が残る厚岸町・別寒辺牛湿原周辺は好蟻性ハチ類の
潜在的な多様性が高いと考えられる

目的

厚岸町のケアリ属の好蟻性ハチ類の種多様性を明らかにする

材料と方法

調査時期：2025年8月～10月に計3回

調査地点：



① トライベツ川付近



② 厚岸水鳥観察館周辺



③ 愛冠岬

材料と方法

採集方法

- ・ **見つけ取り法**

- アリの巣を探索し，巣の前でじっと待ち，見つけたら吸虫管で採集する

- ・ **イエローパントラップ**

- 黄色の容器に水を貼って設置するトラップ

- ・ **マレーゼトラップ（厚岸水鳥観察館周辺）**

- テント型のトラップ



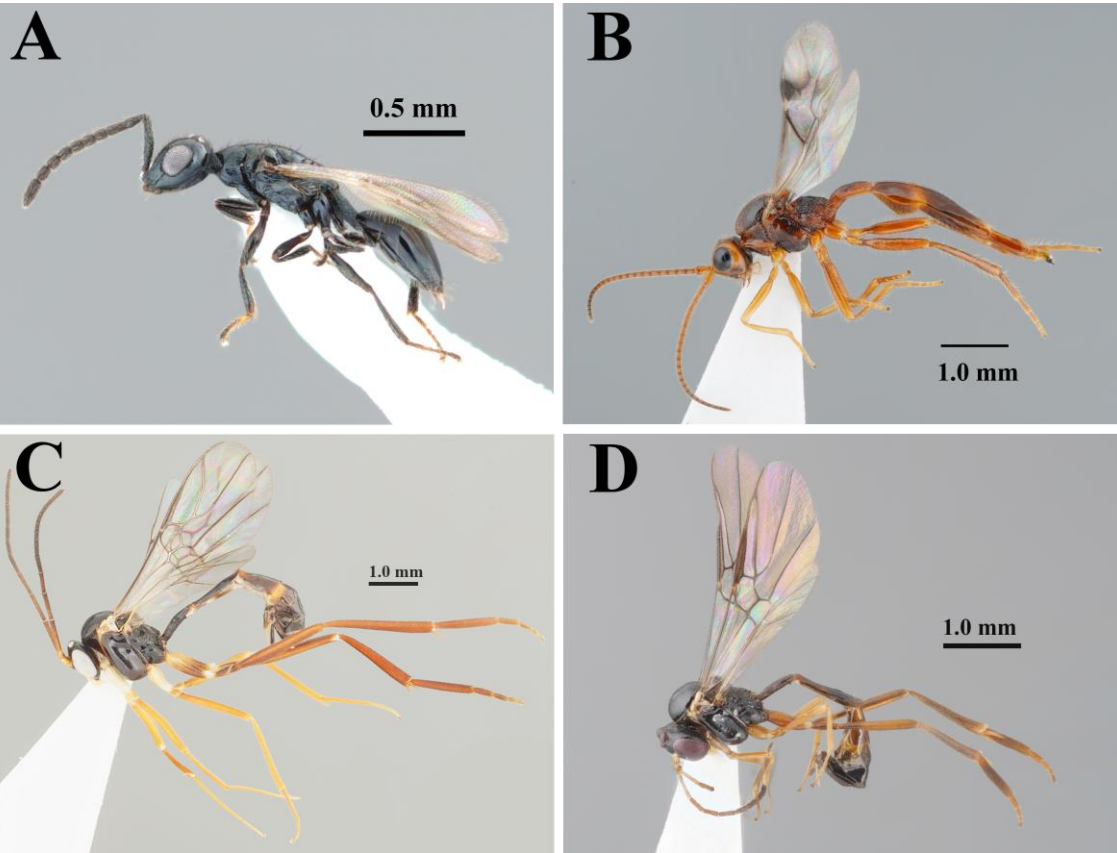
イエローパントラップ



マレーゼトラップ

結果

未記載種を含む 3 科 4 属 4 種の好蟻性ハチ類を採集した



種名	採集時期	採集方法	備考
<i>Spalangia crassicornis</i> (A)	9月	見つけ取り法	日本初記録種
<i>Protaphidius nawaii</i> (B)	8月	見つけ取り法	北海道初記録種
<i>Ghilaromma orientalis</i> (C)	8, 9月	見つけ取り法	
<i>Hybrizon</i> sp. (D)	8月	見つけ取り法	未記載種

結果

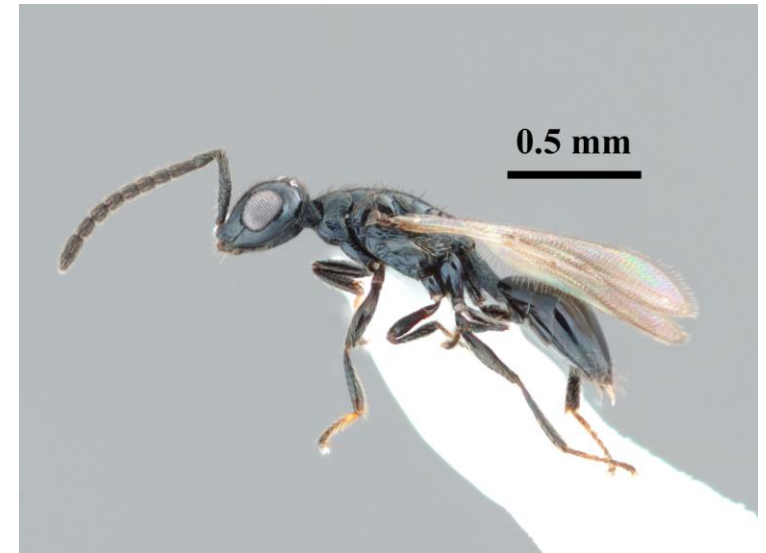
コガネコバチ科の一種 ***Spalangia crassicornis* Bouček, 1963**

採集場所：愛冠岬 (③)

採集状況：クロクサアリ隠蔽種群の一種の，巣口付近を歩いていた

生態：日本国内では未知。イギリスでは，アリ巣内にいる
好蟻性ハエ類に寄生することが知られる (Donisthorpe, 1927, 1938)

備考：ヨーロッパから知られていた。
日本からは初記録となる



結果

オオアリマキヤドリバチ *Protaphidius nawaii* (Ashmead, 1906)

採集場所：愛冠岬 (③)

採集状況：ハヤシケアリの巣の蟻道上（樹幹にケアリ類が構築する，木屑や土で作られたトンネル状のシェルター）に飛来していた

生態：ケアリ類に随伴するアブラムシ類に寄生する
(丸山・小松, 2013など)

備考：本州，四国から知られていた。
北海道からは初記録となる



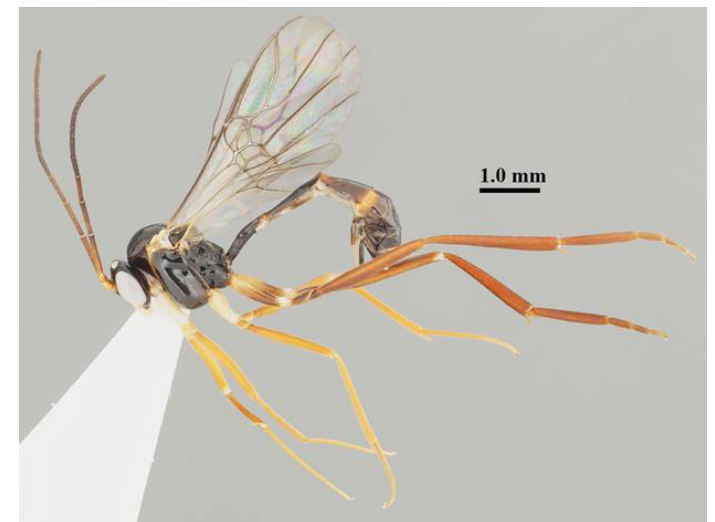
結果

クロクサアリヤドリバチ *Ghilaromma orientalis* Tobias, 1988

採集場所：トライベツ川付近 (①), 愛冠岬 (③)

採集状況：クロクサアリ隠蔽種群の一種の巣付近でホバリングしていた。
S. crassicornis を採集した巣と同じだった

生態：アリヤドリバチ亜科のなかまはアリの幼虫に寄生するとされ、
成虫がアリの巣付近や行列上を
ホバリングする様子が観察されている
(丸山・小松, 2013など)



結果

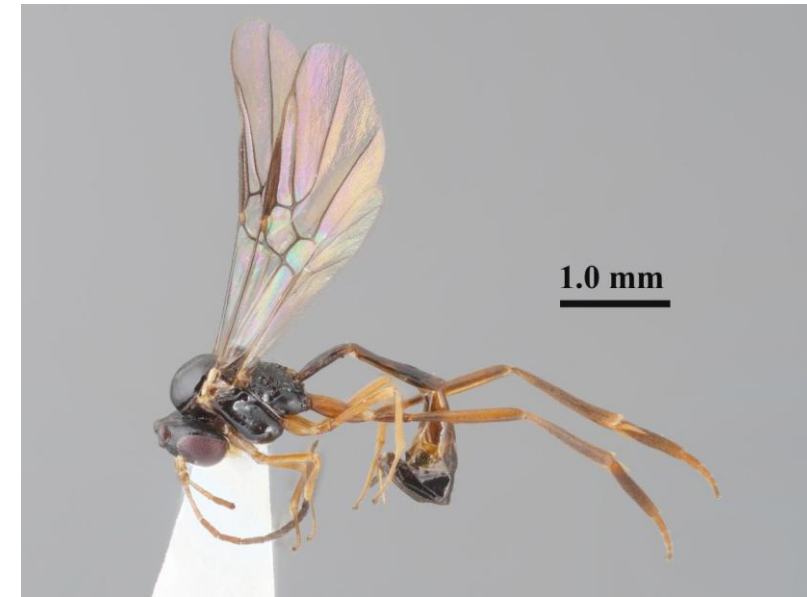
アリヤドリバチ亜科の一種 *Hybrizon* sp.

採集場所：愛冠岬 (③)

採集状況：ハヤシケアリの蟻道上をホバリングしていたところを採集

生態：実際に寄生行動は確認できていないが、蟻道上でホバリングする様子から、アリヤドリバチ亜科の他種と同様にアリの幼虫に寄生すると考えられる

備考：本種は形態的、遺伝的に同属他種と識別できることから、
これまで学名がつけられていない
未記載種であると考えられる



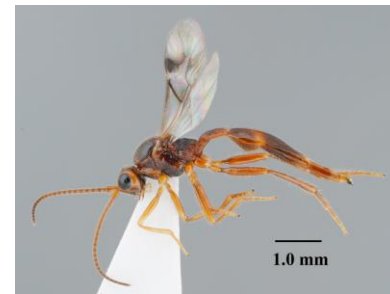
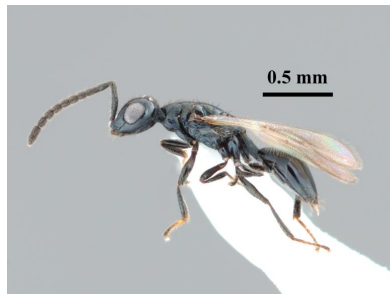
考察

- 2種の分布を更新, 1種の未記載種を確認
 - すべて見つけ取り法で採集
(イエローパンやマレーゼなど, 一般的な採集方法では採集できず)
- アリの巣に注目した採集方法が好蟻性ハチ類の多様性解明に有効であると考えられる
- 調査は8月から開始
 - 6, 7月を中心に発生する好蟻性ハチ類も存在する (Konishi et al. 2012)
- これらの時期にも調査を行うことで, 種数の増加が期待できる

まとめ・今後の展望

3科4属4種の好蟻性ハチ類を確認した

- *Spalangia crassicornis* : 日本未記録種
- *Protaphidius nawaii* : 北海道未記録種
- *Hybrizon* sp. : 未記載種



- 調査時期を変えると確認される種数が増加する可能性
- 分布を更新した種 → 学術雑誌で分布を報告
- 学名未決定種 → 分類学的検討・新種記載論文を執筆